

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年5月1日

【四半期会計期間】 第61期第2四半期(自平成23年12月21日 至 平成24年3月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 青木 春雄  
代表取締役社長 伊藤 明徳

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺 邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺 邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所  
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第60期 第2四半期 連結累計期間	第61期 第2四半期 連結累計期間	第60期
会計期間		自 平成22年9月21日 至 平成23年3月20日	自 平成23年9月21日 至 平成24年3月20日	自 平成22年9月21日 至 平成23年9月20日
売上高	(千円)	10,082,798	10,303,700	20,286,372
経常利益	(千円)	129,842	307,384	399,636
四半期(当期)純利益	(千円)	8,425	148,954	119,509
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	7,161	142,563	114,808
純資産額	(千円)	2,517,378	2,816,867	2,743,678
総資産額	(千円)	15,354,881	15,095,384	15,730,721
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	0.74	12.97	10.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	16.3	18.6	17.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	417,852	286,053	1,321,740
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	231,819	483,796	713,882
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	62,358	6,886	212,773
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,375,528	1,455,047	1,635,461

回次		第60期 第2四半期 連結会計期間	第61期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年12月21日 至 平成23年3月20日	自 平成23年12月21日 至 平成24年3月20日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	5.04	5.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第60期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、中国におけるみそや豆乳の販売強化を目的に、中国の食品販売会社である「上海心征商貿有限公司」と合併会社「丸三愛食品商貿(上海)有限公司」を設立するべく、平成24年3月23日に資本金5,400,000人民元の内、出資比率86%に当たる4,644,000人民元の払い込みを完了し、平成24年3月26日に設立をしております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成23年9月21日～平成24年3月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災による影響から回復傾向にあるものの、欧州諸国の財政危機による世界経済の減速や長期化する円高など景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による節約志向が続いており、市場環境は厳しい状況にあります。又、福島原発事故により食品の安全に対する意識が高まっております。

みそ業界におきましては、デフレによる低価格志向を背景に販売単価の下落、出荷数量の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境で推移しております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、103億3百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は、2億51百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益は、3億7百万円（前年同期比136.7%増）、四半期純利益は、1億48百万円（前年同期比1,667.9%増）となりました。

#### みそ事業

みそ事業全体が伸び悩んだため、売上高は、30億60百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

##### a. 生みそ

みそ市場全体が漸減傾向にある中、出荷数量の減少に加えて低価格志向による販売単価の下落により、売上高は、22億51百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

##### b. 調理みそ

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、5億89百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

##### c. 即席みそ

競合他社との販売の激化により、売上高は、2億19百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

## 豆乳飲料事業

飲料の受託製造品の出荷が減少したものの、豆乳が堅調に推移し、売上高は、66億25百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. につきましては、持分法による投資損失9百万円を営業外費用に計上しております。

### a. 豆乳

健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、51億62百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

### b. 飲料

ミネラルウォーターの出荷が増加したものの、受託製造品の出荷が減少したため、売上高は、14億62百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

## その他食品事業

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、6億18百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産

流動資産は、73億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億30百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の減少1億80百万円、受取手形及び売掛金の減少52百万円、その他に含められております未収入金の減少2億27百万円等によるものであります。

固定資産は、77億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少1億22百万円、建物及び構築物の減少73百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、150億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億35百万円減少いたしました。

### 負債

流動負債は、75億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億49百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少4億14百万円、その他に含められております設備支払手形の減少3億14百万円等によるものであります。

固定負債は、47億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加1億円等によるものであります。

この結果、負債合計は、122億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8百万円減少いたしました。

### 純資産

純資産合計は、28億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加80百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少し、14億55百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億86百万円（前年同期は4億17百万円の増加）となりました。これは、仕入債務の減少額4億14百万円等に対し、減価償却費3億76百万円、税金等調整前四半期純利益2億99百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億83百万円（前年同期は2億31百万円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4億81百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6百万円（前年同期は62百万円の減少）となりました。これは、長期借入れによる収入15億円等に対し、長期借入金の返済による支出14億37百万円、配当金の支払額68百万円等によるものであります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、36百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年3月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年5月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年12月21日～ 平成24年3月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

平成24年3月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社佐藤産業	愛知県岡崎市羽根町陣場103	1,525,300	13.29
佐藤公信	千葉県千葉市花見川区	903,420	7.87
マルサンアイ従業員持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	622,900	5.42
マルサンアイ取引先持株会	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	499,000	4.35
中島典子	愛知県岡崎市	433,830	3.78
福島裕子	愛知県岡崎市	433,830	3.78
佐藤明子	千葉県千葉市花見川区	208,300	1.81
ひかり味噌株式会社	長野県諏訪郡諏訪町4848番地1	200,000	1.74
石田ちる	愛知県岡崎市	192,280	1.67
中島治夫	愛知県岡崎市	176,800	1.54
福島重喜	愛知県岡崎市	176,800	1.54
計		5,372,460	46.79

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,458,000	11,458	同上
単元未満株式	普通株式 21,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,458	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式651株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	1,000		1,000	0.01
計		1,000		1,000	0.01

(注) 当第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は、1,651株であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年12月21日から平成24年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年9月21日から平成24年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,763,461	1,583,047
受取手形及び売掛金	3,212,772	3,160,528 <sub>1</sub>
商品及び製品	608,586	561,439
仕掛品	508,043	521,887
原材料及び貯蔵品	492,892	488,890
その他	1,180,473	1,018,127
貸倒引当金	9,991	8,457
流動資産合計	7,756,236	7,325,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,789,530	2,716,309
機械装置及び運搬具（純額）	1,820,921	1,698,090
土地	2,642,135	2,642,135
その他（純額）	68,569	79,036
有形固定資産合計	7,321,157	7,135,572
無形固定資産	93,768	87,089
投資その他の資産		
投資有価証券	440,564	430,463
その他	136,388	134,190
貸倒引当金	17,394	17,394
投資その他の資産合計	559,558	547,259
固定資産合計	7,974,484	7,769,921
資産合計	15,730,721	15,095,384

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,548,325	2,133,933 <sub>1</sub>
1年内返済予定の長期借入金	2,491,356	2,453,747
未払法人税等	119,379	160,654
賞与引当金	315,107	311,407
未払金	2,120,508	2,192,749
その他	668,398	261,565
流動負債合計	8,263,076	7,514,058
固定負債		
長期借入金	2,802,157	2,902,255
退職給付引当金	1,476,417	1,448,155
資産除去債務	191,092	192,595
その他	254,299	221,452
固定負債合計	4,723,967	4,764,459
負債合計	12,987,043	12,278,517
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,344,121	1,424,193
自己株式	184	675
株主資本合計	2,844,420	2,924,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,280	7,930
為替換算調整勘定	96,035	111,028
その他の包括利益累計額合計	112,316	118,959
少数株主持分	11,573	11,824
純資産合計	2,743,678	2,816,867
負債純資産合計	15,730,721	15,095,384

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)
売上高	10,082,798	10,303,700
売上原価	7,279,594	7,449,434
売上総利益	2,803,204	2,854,266
販売費及び一般管理費	1 2,574,383	1 2,602,730
営業利益	228,821	251,535
営業外収益		
受取利息	674	815
技術指導料	945	6,267
不動産賃貸収入	11,842	11,437
デリバティブ評価益	-	41,585
為替差益	-	24,819
保険解約返戻金	9,732	-
その他	13,296	16,585
営業外収益合計	36,491	101,509
営業外費用		
支払利息	32,333	27,248
持分法による投資損失	32,412	9,608
デリバティブ評価損	39,507	-
為替差損	13,740	-
その他	17,475	8,803
営業外費用合計	135,469	45,660
経常利益	129,842	307,384
特別損失		
固定資産除却損	9,838	6,816
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,408	-
投資有価証券評価損	853	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,020
特別損失合計	86,100	7,836
税金等調整前四半期純利益	43,741	299,548
法人税等	33,640	150,341
少数株主損益調整前四半期純利益	10,100	149,206
少数株主利益	1,675	251
四半期純利益	8,425	148,954

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,100	149,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	8,349
為替換算調整勘定	17,143	14,993
その他の包括利益合計	17,262	6,643
四半期包括利益	7,161	142,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,837	142,311
少数株主に係る四半期包括利益	1,675	251

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	43,741	299,548
減価償却費	361,616	376,185
貸倒引当金の増減額（は減少）	8,569	1,534
賞与引当金の増減額（は減少）	29,083	3,699
退職給付引当金の増減額（は減少）	47,010	28,261
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	8,765	-
受取利息及び受取配当金	2,371	2,705
持分法による投資損益（は益）	32,412	9,608
支払利息	32,333	27,248
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,408	-
為替差損益（は益）	14,777	24,242
投資有価証券評価損益（は益）	853	-
デリバティブ評価損益（は益）	12,515	137,654
有形固定資産除却損	5,521	451
売上債権の増減額（は増加）	101,713	52,444
たな卸資産の増減額（は増加）	367,086	37,304
仕入債務の増減額（は減少）	484,776	414,391
未払金の増減額（は減少）	114,476	82,736
その他	101,937	150,080
小計	464,505	423,118
利息及び配当金の受取額	2,396	2,724
利息の支払額	33,345	28,242
法人税等の支払額	18,146	111,547
法人税等の還付額	2,442	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,852	286,053
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	219,444	481,538
投資有価証券の取得による支出	5,955	6,150
その他	6,419	3,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	231,819	483,796
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,511,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	1,444,743	1,437,511
配当金の支払額	68,092	68,882
その他の収入	96,000	96,000
その他の支出	156,523	96,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,358	6,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,752	24,215
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	108,921	180,414
現金及び現金同等物の期首残高	1,266,606	1,635,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,375,528	1,455,047

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年3月20日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年3月20日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月20日)
	1 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。
	受取手形 8,751千円 支払手形 45,915千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月21日 至 平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年3月20日)
1 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 481,884千円 支払運賃 946,638千円 賞与引当金繰入額 152,973千円 退職給付費用 37,889千円 役員退職慰労引当金繰入額 8,765千円 貸倒引当金繰入額 11,270千円	給与手当 487,063千円 支払運賃 982,042千円 賞与引当金繰入額 147,079千円 退職給付費用 34,495千円 貸倒引当金繰入額 1,534千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月20日) 現金及び預金勘定 1,503,528千円 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 128,000千円 現金及び現金同等物 1,375,528千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年3月20日) 現金及び預金勘定 1,583,047千円 預入期間が3ヶ月を超える 定期預金 128,000千円 現金及び現金同等物 1,455,047千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月9日 定時株主総会	普通株式	68,092	6.00	平成22年9月20日	平成22年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
 期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月8日 定時株主総会	普通株式	68,882	6.00	平成23年9月20日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
 期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成 22年 9月21日 至 平成23年 3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,177,798	6,179,069	725,930	10,082,798	10,082,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,177,798	6,179,069	725,930	10,082,798	10,082,798
セグメント利益	399,740	1,353,761	185,279	1,938,781	1,938,781

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,938,781
全社費用(注)	1,709,960
四半期連結損益計算書の営業利益	228,821

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,060,032	6,625,505	618,162	10,303,700	10,303,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,060,032	6,625,505	618,162	10,303,700	10,303,700
セグメント利益	456,816	1,376,252	145,171	1,978,241	1,978,241

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,978,241
全社費用(注)	1,726,705
四半期連結損益計算書の営業利益	251,535

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年3月20日)
1株当たり四半期純利益金額	0円74銭	12円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	8,425	148,954
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	8,425	148,954
普通株式の期中平均株式数(株)	11,339,911	11,480,222

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 5月 1日

マルサンアイ株式会社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 杉田 純

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 林 寛尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成23年9月21日から平成24年9月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年12月21日から平成24年3月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年9月21日から平成24年3月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成24年3月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。